

＜中小企業の取り組み＞
20代～70代女性全員が正社員
結婚や出産を機に職を離れた優秀な女性を積極雇用
個々の事情で曜日や時短が選択可能

オーダーメイドシャッターの設計、製造、施工業の株式会社横引シャッター(本社:東京都足立区、代表取締役社長:市川慎次郎)は、全社員が安心して働ける職場づくりに、積極的に取り組んでいます。



月に1回のランチ女子会。20代～70代と世代が違う社員同士、美味しいものを食べながらの交流会は、コミュニケーション活性にも役立っています。



くまどりや
72歳で現役の熊取谷社員。パソコンを使いこなす様は、年齢に関係なく能力に限界がない事をさし示しています。

当社は、全社員名39名中、現在20代～70代の8名の女性社員が在籍しており、雇用形態は全員正社員です。勤務時間は基本的に9時～6時ですが、人によっては9時～5時や、子供が小さい社員は10時～4時で週4日の出勤と、曜日や時間の選択も可能です。また、家族の事情で病院に行く時などは半日休む事も可能とフレキシブルな対応を取っています。また月に1回のランチ女子会を開催しており、コミュニケーションの場を設けています。

現在、女性社員の時短形式を取っている企業は数多ありますが、そのほとんどは、ある既定の枠内での形式です。しかし当社は社員個々の事情を踏まえて時短形式をとっています。また社員の家族に何かあった時は、社長自ら帰宅を促し、女性にとって働きやすい環境作りを取っています。この背景には、当社代表の市川の、同じ仕事をしているのに、パート・社員と分ける意味は無いと考えている点と、男女平等社会といつつも、育児や介護等は女性側に負担がかかります。その為、雇用する側が雇用される側に歩み寄り、社員達が安心して働ける環境作りを行っています。

■結婚や出産を機に職を離れた優秀な女性を積極雇用

当社は、前職は一級建築士の資格を活かした専門職や、テレビ局で営業関係の業務を行っていた女性社員等優秀な女性を積極的に雇用しています。これらの社員は、結婚や出産を機に職を退いた人材です。日本の労働

力が減少する中、国を挙げて女性の人材活用が重要なテーマとなっていますが、現役時代は第一線で活躍しても、結婚を機に退職し再就職先を探しても前職と同様の職に就くのは難しく、たとえ再就職できてもパートなどの単純労働が主となる日本の現状があります。

■前職スキルの活用は勿論、デジタルツールを使いこなすシニア女性も



くまとり やあきこ
熊取谷明子 (72歳)

入社きっかけは、横引シャッターの事務員募集の情報を娘が教えてくれたことです。家でじっとしているよりも会社に来ているほうが、元気が頂けますし、世の中にも明るくなります。同僚の仲間に教えてもらいパソコンも覚え、今ではデジタルツールもそここの腕前と自負しています。いくつになっても会社や社会の役に立ちたいと思っています。



かわぼたち ちえ
川端千恵 (46歳)

独身時代は出身地のテレビ局で広告や営業関連の仕事をしていました。結婚を機に東京へ上京し、営業事務の仕事をしていましたが、当時は今のような産休制度は無く、妊娠を機に退職しました。その後はパートの仕事をしていましたが、フルタイムの仕事を望み横引シャッターに入社しました。今は、広報、総務、経理と様々な業務を兼務しています。

結婚後は仕事が見つかっていても単純労働が主でしたので、再び正社員で、しかも独身時代の仕事が業務で活かされるとは思ってもいませんでした。家庭と両立も出来てとても充実しています。



はぎわら ゆきこ
萩原有紀子 (32歳)

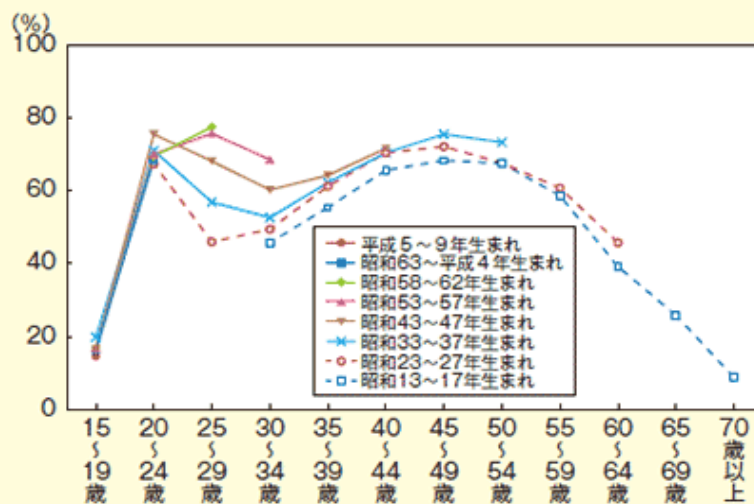
以前は、大手のハウスメーカーで専門職として働いていました。一級建築士の資格を取得し、結婚後も仕事を続けましたが、長時間労働とストレスで仕事と家庭の両立が難しく退職しました。子供が生まれ、区の許可保育所には入れられず、短期間の一時保育所に預けながら転職先を探し横引シャッターの面接に行きました。しかし、2次面接の日程と子供の預け先が合わず、その事を素直に社長に告げたところ、子供も一緒に連れてきて良いと言われ、業務も家族優先で良いと言われました。今の勤務形態は週4日で時間は朝の10時から夕方4時までと、業務も設計関係の仕事で前職が活かされています。個々の事情を踏まえたフレキシブルな業務形態で、とても助かっています。

当社は、これからも優秀な人材を発掘して積極雇用し、前職を活かした体制作りを行っていきます。また、当社は従来の町工場や、ものづくりの中小企業は暗く汚いというイメージを払拭したいと考えており、様々なことを取り組んでいます。今後も大手企業では出来ない、特長ある中小企業を目指し、社内社外問わず良いと感じたことは積極的に取り入れてまいります。

<参考>

■M字カーブを描く日本特有の女性労働力率

内閣府男女共同参画局による平成25年度版・男女共同参画白書では、日本女性の労働力率は、結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するM字カーブが特長です。独身時代は正社員として働いている女性も、結婚・出産を機に、徐々に非正規雇用、あるいは一時的な離職といった選択を行っており、優秀な人材が埋没する傾向があります。



(備考) 1. 総務省「労働力調査(基本集計)」(年平均)より作成。
2. グラフが煩雑になるのを避けるため、出生年5年間を1つの世代としてまとめたものを、昭和53～57年生まれ以前について、1世代おきに表示している。全ての世代を考慮した場合も、おおむね同様の傾向が見られる。

<本件に関するお問い合わせ先>
横引シャッター広報事務局 担当：新保(しんぼ)

TEL:03-5411-0066 FAX:03-3401-7788
携帯:080-9874-4858 メール:pr@real-ize.com

【会社概要】

会社名 :株式会社横引シャッター
代表 :代表取締役社長 市川慎次郎(いちかわしんじろう)
所在地 :東京都足立区綾瀬 6-31-5
ホームページ :<http://www.yokobiki-shutter.co.jp>
設立 :1986 年 4 月 3 日
従業員 :39 名(グループ全体・2015 年 4 月現在)
資本金 :1,000 万円
事業内容 :オーダーメイドシャッターの設計、製造、施工業

当社は、1986 年の創業以来、原発・火力発電所・造幣局等、特殊な用途の施設に、防犯性と製品の信頼性を高く評価されてきました。また、現在上吊り式シャッター関連の多数の特許を保有し、特殊シャッターの分野では先駆けの企業です。

この他にも、ショッピングモールの時間差店舗の管理シャッター、個人のガレージ、雨戸シャッター等、大規模な事業、個人宅関係なく、顧客ごとにオーダーメイドで製作しています。

自社のシャッターの修繕の経験、アイデアを形にする技術、金属加工に限らずシャッター技術に必要な部位製造も自社製品でまかっています。これらが可能なのは、高度経済成長期の日本を牽引してきた職人の技が集結しているからです。

■フェイスブック :横引シャッター facebook 公開中
100005657023160@facebook.com



■足立ブランド認定 :株式会社横引シャッターの製品は、東京都足立区が優れた製品・技術と認定した足立区ブランド認定製品です。

FC ADACHI



「足立ブランド」は、足立区が区内産業の優れた製品・技術を認定し、その素晴らしさを全国に PR し、ネットワークを広げていくことで区内産業のより一層の発展と足立区のイメージアップを図ることを目的に平成 19 年度から開始した事業です。認定製品・技術には「認定ロゴマーク」が付与され、販路拡大のための PR 支援などの事業を展開し全国へアピールしていきます。

■カニ部長



: 駅の売店でお馴染みの横に引くシャッターの専門メーカー「横引シャッター」。この横に動く動作がカニを連想させる事から、オリジナルキャラクター「カニ部長」が誕生。横引シャッターの親善大使としてキャラクター商品を展開中です。

LINE スタンプ、クリアファイル、缶バッジ、等